太陽光発電システム用キャビネット（接続箱向け）OAPV　取扱説明書

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用の前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
（この説明書は、必ず保管しておいてください。）

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの取扱説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」「注意」として区分してあります。

⚠危険	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、死亡又は重傷を受ける可能性が想定される場合。
⚠注意	取扱いを誤った場合に、危険な状況が起こりえて、中程度の傷害を受ける可能性が想定される場合、及び物的損害だけの発生が想定される場合。

なお、⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■使用上の注意

⚠注意

- 本製品は壁掛け専用の太陽光発電システム用キャビネット（接続箱向け）です。使用目的以外で使用しないでください。
- 基板は放熱効果の高いアルミ製です。付属の基板及び取付ねじを必ずご使用ください。付属の基板を使わずにダイオードを取付けた場合、ダイオードの発熱によりやけどや機器が故障する可能性があります。
- 基板の耐荷重は4kgです。積載可能質量を超えて使用した場合、落下・破損の原因となり、怪我をする可能性があります。
- 基板に加工し取付けるねじはM3～M5の小ねじ又はタッピンねじとし、下表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。M6以上のねじ及びSタイトやFTねじ等の特殊断面形状のねじは使用しないでください。基板はアルミ製ですのでねじ山が破損し、落下・破損の原因となります。
- 基板を固定するねじは、下表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、感電・落下・破損の原因となります。また締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損する恐れがあります。
- ノックアウト加工をする際は、緩衝材等を敷きキャビネットに負荷がかからないようにしてください。
  キャビネットが変形する可能性があります。
- ノックアウト加工をした場合、破断面で怪我をする又は破断面から錆が発生する可能性がありますので、タッチアップペイントで補正しグロメットを取付ける等破断面を保護してください。弊社オプションパーツ タッチアップペイントBP81-63F、グロメットBP14-28Gをお奨めいたします。
- お客様にて塗装を行う場合、必ず防水ブッシュ・屋根サイドブッシュなどの樹脂部品やパッキンは取外してください。IP性能の低下により機器が故障する原因となります。
- キャビネットの設置には壁面取付穴をご利用ください。取付ねじは呼び径4.1又は4.5の木ねじをお奨めいたします。取付穴を使用しない場合やねじ取付後にIP性能が低下する可能性がある場合は、シール等により取付穴を塞いでください。IP性能の低下により機器が故障する原因となります。
- 扉を施錠した際は、必ず扉が閉まっていることを手で確認してください。

	ねじの呼び	適正締付トルク	図説
基板に加工し取付けるねじ	M3	0.5～1.0N・m（5～10kgf・cm）	基板に加工し取付けるねじ 基板を固定するねじ
	M4	1.5～2.5N・m（15～25kgf・cm）	
	M5	1.8～2.9N・m（18～30kgf・cm）	
基板を固定するねじ	M6	2.9～4.4N・m（30～45kgf・cm）	

■施工上の注意

<table>
<tr><td colspan="2">⚠注意</td></tr>
<tr><td>

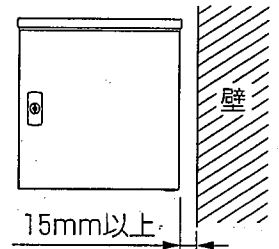
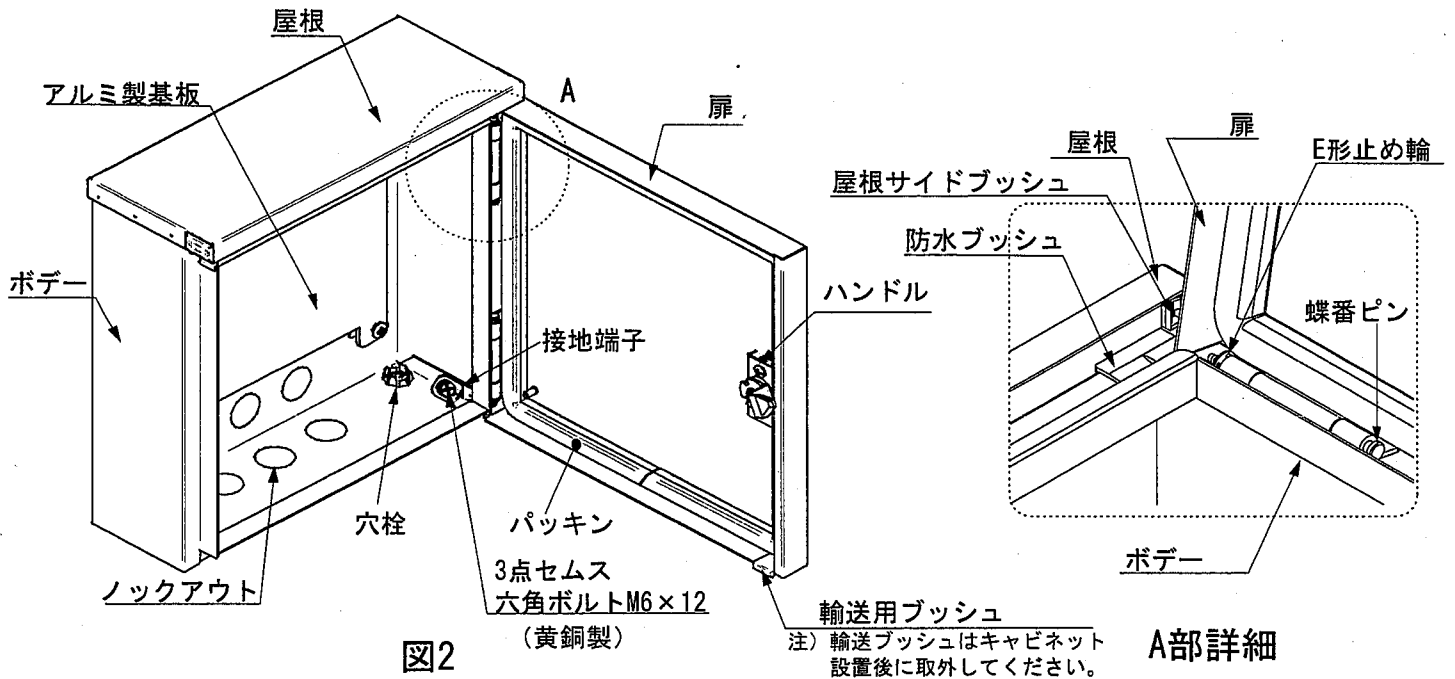
・直射日光の当たる場所及び高温多湿の場所を避けて軒下などに設置してください。直射日光の当たる場所や高温多湿の場所でダイオードを取付けた場合、ダイオードの発熱によりやけどや機器が故障する可能性があります。
・キャビネットの取付けは、十分な強度のある壁面に確実に固定してください。強度が十分でない場合キャビネットが落下し、怪我や機器が故障する原因となる可能性があります。
・キャビネットを壁面に取付ける際、蝶番側は少なくとも15mm以上隙間を空けてください。それ以下の隙間では扉が開かなくなります。[図1]

</td><td>

図1

</td></tr>
</table>

■本体構造・各部名称

図2

■壁面取付穴位置

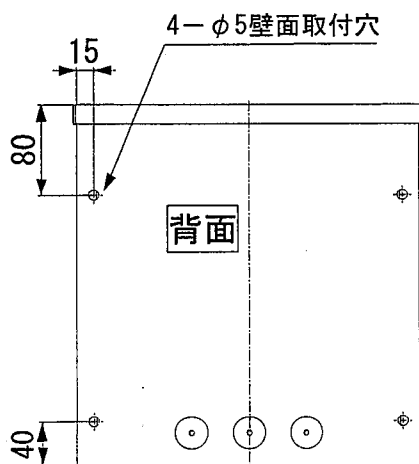
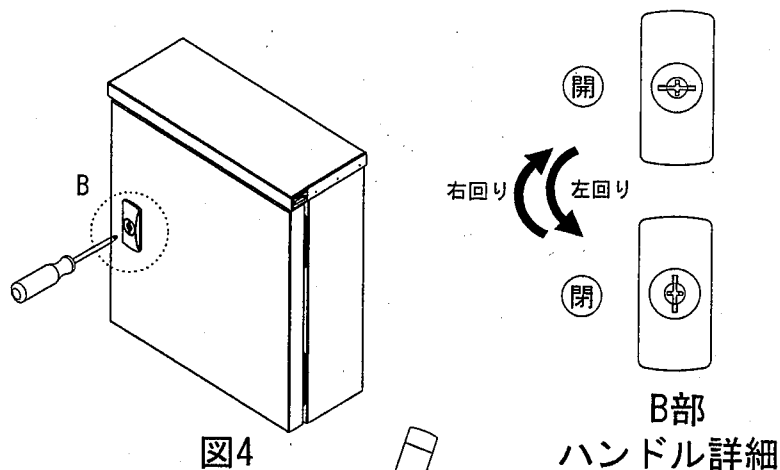



図3

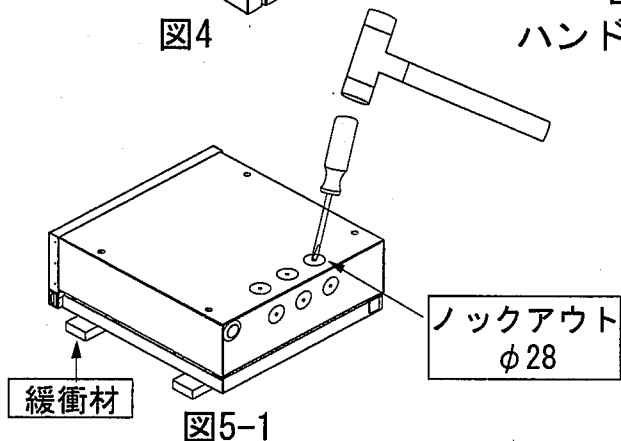
<table>
<tr><td>⚠注意</td></tr>
<tr><td>キャビネットの設置には左図の壁面取付穴をご利用ください。取付ねじは呼び径4.1又は4.5の木ねじをお奨めいたします。取付穴を使用しない場合やねじ取付後にIP性能が低下する可能性がある場合はシール等により取付穴をふさいでください。
IP性能の低下により機器が故障する原因となります。</td></tr>
</table>

■扉の開け方

＋ドライバー（呼び2番）、ードライバー等にてハンドルを９０度回転させてください。

図4

■ノックアウトについて

キャビネットの背面及び底面にノックアウトφ28（中央に刻印あり）が設けられています。
ノックアウト加工をする際は、ドライバーの先等をノックアウト部に当て、ハンマーでキャビネットの外側から打ち抜いてください。［図5-1］

図5-1

⚠注意

・ノックアウト加工をする際は、緩衝材等を敷きキャビネットに負荷がかからないようにしてください。
キャビネットが変形する可能性があります。
・ノックアウト加工をした場合、破断面で怪我をする又は破断面から錆が発生する可能性がありますので、タッチアップペイントで補正しグロメットを取付ける等破断面を保護してください。弊社オプションパーツタッチアップペイント BP81-63F、グロメット BP14-28Gをお奨めいたします。

・製品ヨコ寸法300mmの場合　・製品ヨコ寸法400mmの場合

背面
ノックアウト φ28
C
30
50 50
70 70 70
刻印
C部
ノックアウト詳細
底面

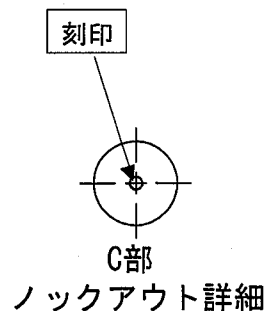
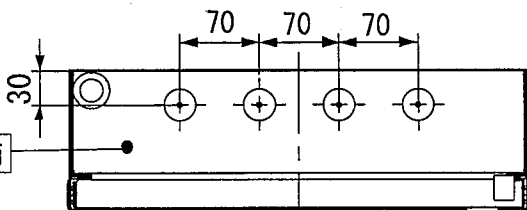
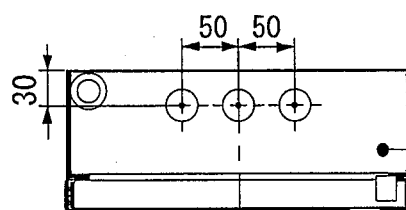
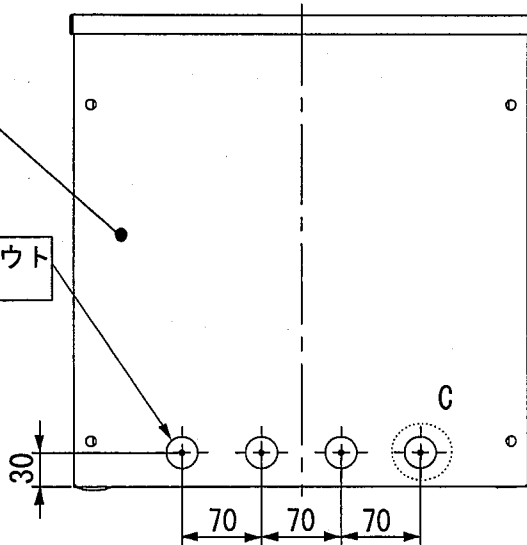
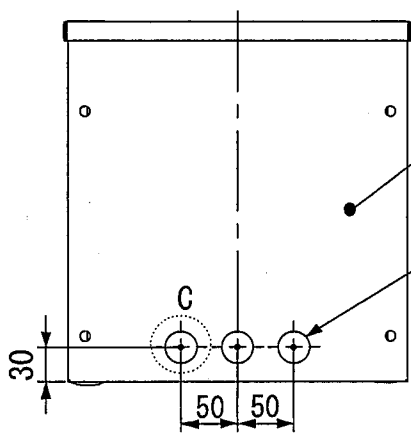



図5-2　図5-3

■部品の取外し・取付方法

●基板を取外し、再度取付ける際は下図のように組付けてください。

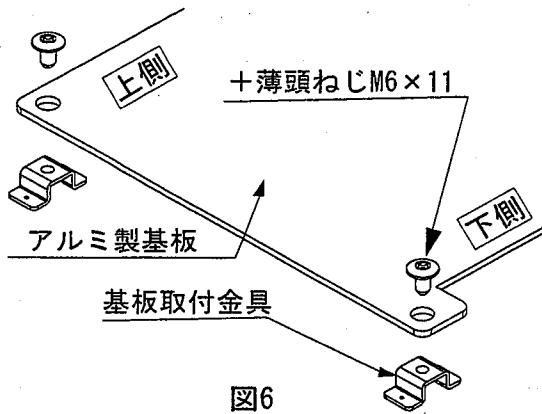



図6

⚠注意

基板を固定するねじは、下表の適正締付トルク値を守り正しく締付けてください。締付けが不十分の場合、感電・落下・破損の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損する恐れがあります。

ねじの呼び	適正締付トルク
M6	2.9～4.4N·m(30～45kgf·cm)

●ハンドルを取外し、再度取付ける際は下図の手順で行ってください。

(1) リングバネ①はハンドル②と止め金③との間に入れてください。[図7-1]
(2) ハンドル②の一溝をタテ向、止め金③を① の位置で取付けてください。[図7-2]
(3) 取付け後は止め金③を動かして『カチカチ』と音がすることを確認してください。

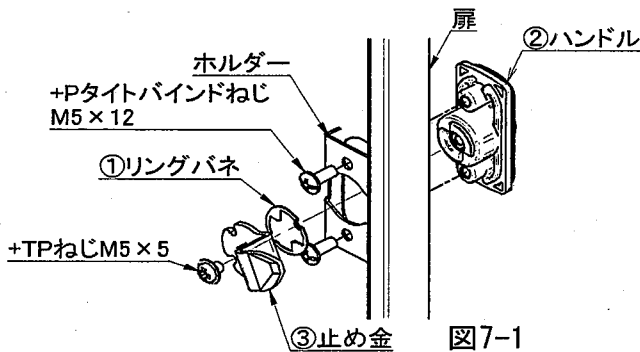



図7-1

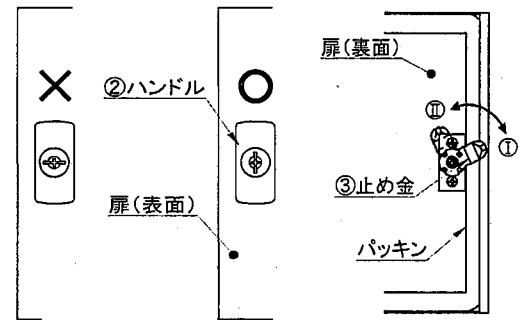



図7-2

●屋根サイドブッシュ・防水ブッシュの着脱は下記の手順で行ってください。

・屋根サイドブッシュ・防水ブッシュの取外し手順

1) E形止め輪①を蝶番ピン②から取外し、蝶番ピン②を引抜き扉を外してください。[図8-1]
(扉がついていると屋根サイドブッシュ③や防水ブッシュ④の取外しができません。)
2) 屋根サイドブッシュ③を取外してください。指でツメ⑤を押すと外れます。 [図8-2]
3) 防水ブッシュ④を取外してください。 [図8-3]

①E形止め輪
扉
③屋根サイドブッシュ
④防水ブッシュ
屋根
ボデー
②蝶番ピン

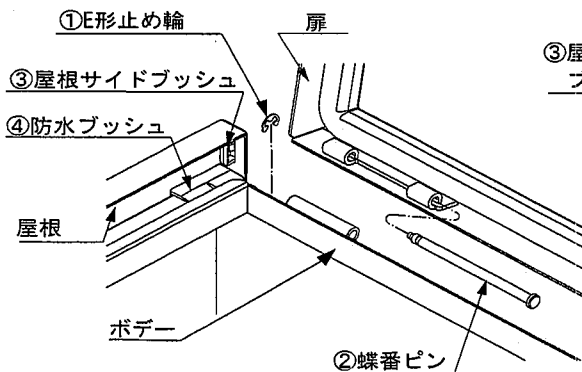
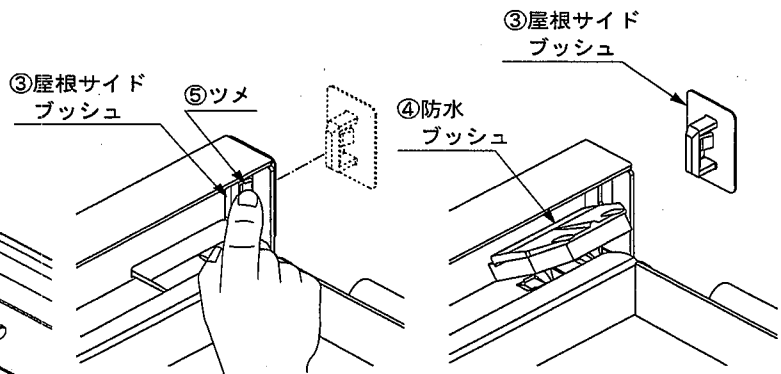
図8-1

③屋根サイド
ブッシュ
⑤ツメ

図8-2

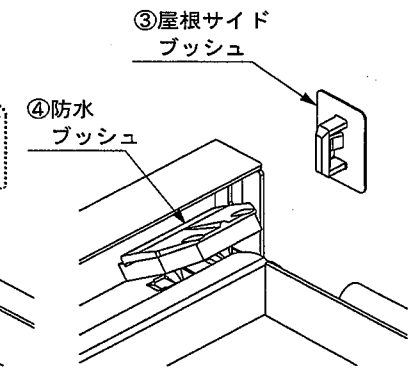



図8-3

・屋根サイドブッシュ・防水ブッシュの取付手順

(上記の『取外し』と逆の手順で取付けてください。)
1) 防水ブッシュ④を取付けてください。その際、防水ブッシュ④にパッキン⑥が付いていることを確認してください。 [図9]
(ご注意)パッキン⑥が無いと防水・防塵性能が確保できなくなります。
2) 屋根サイドブッシュ③を取付けてください。
3) 扉を取付けてください。

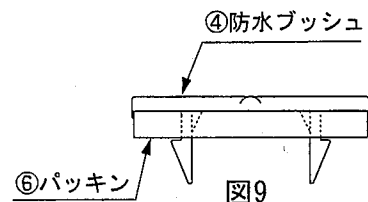



図9

仕様等、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。また、ご不明な点がありましたら弊社お客様相談室にお問い合わせください。この取扱説明書の内容は2010年9月現在のものです。

NITO 日東工業株式会社
お客様相談室／愛知県愛知郡長久手町蟹原2201番地
TEL(0561)64-0152
http://www.nito.co.jp

B826633925
SK-118A